



国立公園等施設利用環境整備事業

平成29年度補正予算（案）
2,000百万円

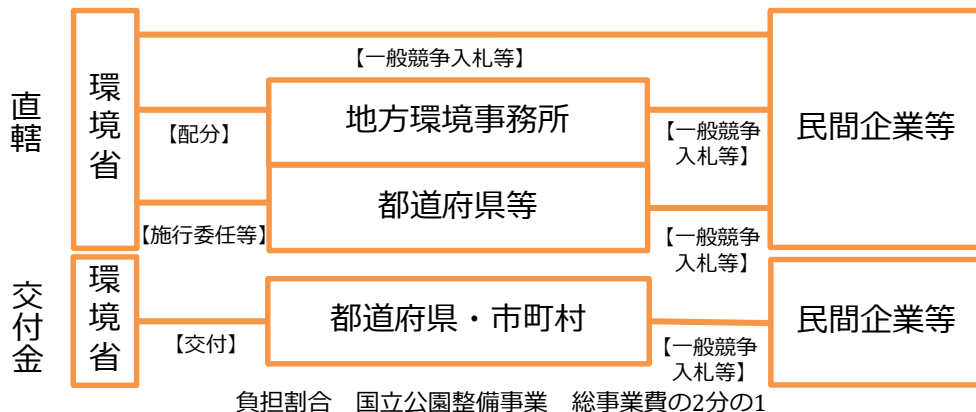
背景・目的

自然公園は森林や湿原、火山、高山、海岸などの多様な自然環境を有するが、現在、自然公園等施設は老朽化と近年激甚化している自然災害等が重なって荒廃が進み、更に国土の基盤となる自然自体の機能が低下し、安全な公園利用等に支障が生じている。これらに対して総合的な防災・減災を図りつつ利用者の安全確保、国土の強靱化、観光基盤の強化を図る。

事業概要

訪日外国人を含めた公園利用者等の防災・減災対策を図るため、ビジターセンターや公衆トイレ、野生生物保護センター等の既存施設の緊急的な保守点検・診断により状態を把握し、危険を伴う老朽化が進んだ施設の更新等を実施する。

事業スキーム



- ・ 防災・減災対策の強化による受入環境整備・安全対策
- ・ 自然環境保全による国土強靱化

期待される効果

国立公園等において、訪日外国人を含むすべての人が安心安全に自然を楽しむための基盤整備が行われ、また同時に自然環境の保全に伴う国土の強靱化、観光基盤の強化が行われる。

事業目的・概要等

イメージ

「安心・安全な施設」 「国土の強靱化」



既存施設の緊急点検・危険を伴う老朽化施設の更新等

